

岩手労福協

発 行

(社)岩手県労働者福祉協議会
盛岡市大沢川原2丁目2番32号
TEL (019) 654-3082

発行責任者 砂金文昭
編集責任者 佐々木誠志

No.145 2010年9月1日発行



砂金文昭会長

第55回 通常総会 開催

勤労者と家族の暮らしの安心・安全を めざし労福協活動の基盤強化を!!

(社)岩手労福協は、6月16日(水)第55回通常総会を「岩手労働福祉会館」において開催し、2009年度事業報告、会計報告などについて承認しました。

総会は、軽石義則副会長の開会挨拶の後、議長に佐々木勝則代議員（全労済岩手県本部）を選出し進められました。

はじめに労福協を代表して砂金文昭会長より、リーマンショックによる世界同時不況の影響が県内においても更に格差・貧困への広がりつつがあり、結果として労働者・勤労者を取り巻く環境は非常に厳しいものとなっている。県内の勤労者と家族の暮らしの支援をはかるセーフティネットとしてライフサポートセンターいわてを立ち上げ、取り組んできたことを報告し、勤労者がこの岩手で安心して暮らせることをめざしますと挨拶をしました。



引き続き、来賓として伊藤昇太郎岩手県商工労働観光部雇用対策・労働室長、伊勢澤信之盛岡市商工観光部企業立地雇用課副主幹、伊藤瞬一社団法人岩手県経営者協会専務理事より順に祝辞を受けました。続いて各方面から寄せられた激励の祝電・メッセージが披露されました。

議案審議では、第1号議案2009年度事業報告と第2号議案2009年度会計について佐々木専務理事が、監査報告は柴谷監事が、第3号議案役員選任について小野常務理事がそれぞれ提案し、質疑の後、議案が承認されました。2010年度事業計画と2010年度予算については、第54回総会で承認済みとの報告がされ、全議案とも満場一致で承認されました。

この後、退任された千葉進理事の挨拶があり、引き続き新任の上田高理事が決意を述べました。最後に来内広幸副会長の閉会の挨拶にて第55回通常総会が終了しました。

2010年度の活動の基調

1. 福祉事業団体、労働団体との連携を強め、労働者自主福祉活動の基盤強化に努めます。
2. ライフサポートセンターいわての充実をはかり、勤労者と家族の暮らしの安心・安全をめざします。
3. 地区労福協・勤労協運動の活性化による地域運動の展開と、組織の強化をはかります。
4. 福祉事業団体や関係団体と連携し、勤労者と家族の生涯福祉・生涯取引の取り組みをめざします。
5. 中央労福協・北部労福協と連携し、社会的公正に向けた取り組みを進めます。

(社)岩手県労働者福祉協議会役員名簿

役職名	氏名	所 属
会 長	砂 金 文 昭	再 連 合 岩 手
副 会 長	小野寺 正 志	再 東北労働金庫岩手県本部
〃	来 内 広 幸	再 平和環境岩手県労組センター
〃	軽 石 義 則	再 岩 手 友 愛 会
専務理事	佐々木 誠 志	再 全 労 済 岩 手 県 本 部
常務理事	小 野 務	再 連 合 岩 手
理 事	下斗米 義 孝	再 東北労働金庫岩手県本部
〃	佐々木 敏 男	再 全 労 済 岩 手 県 本 部
〃	浦 山 正 年	再 (財) 岩 手 県 民 共 済 会
〃	矢 神 章 男	再 消費者信用生活協同組合
〃	昆 誠	再 (財) 岩 手 労 働 福 祉 会 館
〃	豊 巻 浩 也	再 岩手県学校生活協同組合
〃	上 田 高 新	再 岩手県高等学校教職員組合
〃	藤 井 明 彦	再 UIゼンセン同盟岩手県支部
〃	八 幡 博 文	再 情報労連岩手県協議会
監 事	吉 田 恵 一	再 全 労 済 岩 手 県 本 部
〃	柴 谷 正 孝	再 運輸労連岩手県連合会

選出日 2010年6月16日 第55回通常総会

【退任役員】

この度、第55回通常総会をもって、理事を退任することになりました。

在任中は、公私にわたりご指導ご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

千葉 進 理事（岩手県高等学校教職員組合）

2010年度主要な主催事業

(いずれも詳細は後日文書でご案内いたします。)

□ 労働者福祉に関する事業

〈退職準備サポート研修会〉

開催地区 北上地区 11月6日(土)「さくらホール」

盛岡地区 11月27日(土)「岩手労働福祉会館」

気仙地区 11月28日(日)「気仙地区教育会館」

〈家庭介護セミナー〉

開催地区 盛岡地区 3月12日(土) 予定

奥州地区 3月13日(日) 予定

□ 労働者の教育、文化、スポーツ及び交流に関する事業

〈第22回岩手県勤労者野球大会〉

日時 10月10日(日)

雫石町鶯宿 町営グラウンド

(南部富士見ハイツ隣接)

〈第29回岩手県勤労者美術展並びに
第14回親子ふれあい写真展〉

日時 11月18日(木)から11月21日(日)

盛岡市民文化ホール(マリオス)

〈第15回岩手県勤労者ボウリング大会〉

日時 2011年2月19日(土) 盛岡市

改正貸金業法完全施行

2010年6月18日

借り過ぎ・貸しすぎを防ぐため、ルールが変わりました。

その1. 改正貸金業法とは

- ① 貸金業法とは、消費者金融(サラ金)、信販・クレジットカードのキャッシングなどの貸金業者や、貸金業者からの借入れについて定めている法律です。
- ② 2006年12月社会問題化した「多重債務問題」の対応策として、従来の法律が抜本的に改正され、段階的に施行されました。2010年6月18日完全施行。

その2. 改正貸金業法のポイントは

- ① 総量規制の導入
 - ・借入残高が年収の3分の1を超える場合、新規の借入れができなくなる。
- ② 借入れの際、年収証明書類が必要となる。

- ③ 借入れは、すべて信用情報機関に登録される。

④ 上限金利の引下げ

- ・法律上の上限金利が29.2%から、借入金額に応じて15%～20%に引下げ。

※ 総量規制の対象とならないもの

- ・貸金業者以外からの借入れ(労金・銀行等)・法人名義の借入れ・住宅ローン・マイカーローン等。

その3. 所得のない専業主婦(主夫)の借入れは

- ① 新規借入れは配偶者の同意書が必要となる。
- ② 残高が100万円超残っている場合は、配偶者の収入証明書や住民票等が必要。
- ③ 今後、夫(妻)に内緒の借入れは不可。

「借りられない」「返せない」、
困ったときは、お早めに相談を！

ライフサポートセンターいわて
フリーダイヤル 0120-804-340

— 2010年県消費者大会・講演会のお知らせ —

- 日時 2010年10月27日(水) 10:30～12:30 ■参加費 無料
 ■会場 サンビル 7階ホール
 ■講演 「消費税増税はまちがっている」 講師 二宮 厚美氏(神戸大学教授)

2010年度 第1回地区労福協・勤労協代表者会議 を開催

7月31日(土)岩手労働福祉会館4階会議室において、第1回地区代表者会議が開催されました。代表者会議には10地区の代表者が出席し、砂金文昭会長の挨拶の後、労福協の「生活応援運動」の推進と2010年度における活動方針や各地区の課題等について熱心に協議が行われました。

「生活応援運動」の推進では、①労福協からライフサポートセンターいわての相談状況について、②東北労働金庫岩手県本部 竹岡信幸担当部長から第2次気づきキャンペーンの取り組みの住宅資金の借換えや返済期間の延長、返済額の減額、猶予等の相談や当面の生活費の借入について、③全労済岩手県本部 小林毅昭事業推進部長から暮らしや時代にあった保障の在り方について、④消費者信用生協 藤川晋吾盛岡相談センター長からクレ・サラからの借換えや債務整理に必要な相談について提起がありました。

〈出席者〉

地 区	役職名	氏 名	地 区	役職名	氏 名
盛 岡	議 長	佐々木 信 一	釜 石	事務局長	鈴 木 圭
花 巻	事務局長	阿 部 正 介	東磐井	事務局次長	菅 原 芳 勝
一 関	副 会 長	沼 田 正 行	岩 手	事務局長	佐々木 徹
遠 野	会長代行	高 橋 一 則	久 慈	会 長	村 田 順
宮 古	幹 事	佐々木 正 人	二 戸	会 長	坂 本 敏 美

ライフサポートセンターいわて
第3回 評 議 員 会 開 催

6月16日(水)、ライフサポートセンターいわて第3回評議員会が岩手労働福祉会館で開催されました。設立から2年が経過し、基礎を固めてきた活動を振り返り、2010年度方針を確認しました。評議員会では、センターを代表して砂金理事長の挨拶の後、来賓として黒沢秀之岩手労働局総務部長、川村政司岩手県商工労働観光部雇用対策・労働室労働課長から激励のご祝辞をいただきました。

活動計画には、事業を推進するために、①相談体制の充実、②広報活動の充実などが織り込まれました。

●●●● ライフサポートセンターいわての相談状況から ●●●●

(1) 主な特徴点

2009年度の相談状況は、総相談件数は255件であり、月平均で20件と2008年度の2.71倍に増加しました。主な相談内容は①生活相談127件で49.8%、仕事がない・生活資金が多い。②金銭相談60件で23.5%、多重債務が中心。③法律税金44件で17.3%、相続問題・離婚や家庭環境問題。④労働相談12件で、4.8%です。

〈件数と内容〉

	総件数	労働相談	法律税金	子 育 て	金銭問題	生活相談	社会保障
2009年	255件	12件	44件	4件	60件	127件	8件
	%	4.8	17.3	1.5	23.5	49.8	3.1
2008年	94件	7件	19件	3件	14件	47件	4件
	%	7.4	20.2	3.2	14.9	50.0	4.3

(2) 男女別件数

男性105件で41.2%、女性150件で58.8%です。

	総 件 数	男 性		女 性	
2009 年	255件	105件	41.2%	150件	58.8%
2008 年	94件	36件	38.3%	58件	61.7%

(3) 年齢別件数

①40歳63件で24.7%、②50歳代58件で22.7%、③30歳代37件で14.5%、④60歳代32件で12.5%です。⑤20歳代15件で5.9%です。年齢不明者26件です。

	10未	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明
2009 年	1件	2件	15件	37件	63件	58件	32件	10件	11件	26件
%	0.4	0.8	5.9	14.5	24.7	22.7	12.5	3.9	4.3	10.2
2008 年	—	1件	2件	10件	22件	19件	15件	6件	—	19件
%		1.0	2.1	10.6	23.4	20.2	16.0	6.4		20.2

(4) ライフサポートセンターいわてを知ったルート

① 電話帳広告が79件で31.0%、② チラシ66件で25.9%、③ 紹介39件で15.3%、④ 広報紙30件で11.8%、⑤ 新聞広告27件で10.6%です。

	広 報 紙	新聞広告	電話帳	チ ラ シ	紹 介	その他
2009 年	30件	27件	79件	66件	39件	14件
%	11.8	10.6	31.0	25.9	15.3	5.5
2008 年	31件	17件	10件	9件	10件	17件
%	33.0	18.1	10.6	9.6	10.6	18.1

(5) サービスセンター別件数

	総 件 数	いわて	北 上	一 関
2009 年	255件	145件	37件	73件
%		56.9	14.5	28.6
2008 年	94件	90件	3件	1件
%		95.7	3.2	1.1

(6) 市町村別件数

市町村	盛岡市	滝沢村	矢巾町	紫波町	花巻市	北上市	奥州市	平泉町
2009 年	89件	4件	1件	6件	17件	21件	11件	4件
255 件	34.9	1.6	0.4	2.4	6.7	8.2	4.3	1.6
2008 年	68件	4件	1件	2件	2件	6件	2件	
94 件	72.3	4.2	1.1	2.1	1.1	6.4	2.1	

一関市	陸前高田市	藤沢町	釜石市	金ヶ崎町	宮古市	二戸市	県 外	その他
77件	1件	4件	5件	3件	1件	2件	2件	7件
30.2	0.4	1.6	2.0	1.2	0.4	0.8	0.8	2.7
3件								5件
3.2								5.3

(7) 来所・電話相談数

	総件数(電話:来所)	いわて(電話:来所)	北 上(電話:来所)	一 関(電話:来所)
2009 年	255件(223:32)	145件(129:16)	37件(33:4)	73件(61:12)
2008 年	94件(68:26)	90件(64:26)	3件(3:0)	1件(1:0)

(8) 相談照会先

	信用生協	NPO生活者	労働金庫	全 労 済	弁 護 士	司法書士
いわて	9	1	1		3	6
北 上	7		1	1		
一 関	4		1		1	

体験型ボランティアの参加者を募集 !!

東北労働金庫で岩手県本部では、体験型ボランティアの一環として、
「東北ろうきんNPOパートナーシップ2010」の参加者を募集しています。

- ◆受入団体 県内8カ所 ◆体験期間 2010年8月～12月24日
◆活動期間 5日以内 ◆お問い合わせ先 東北労働金庫岩手県本部 ☎019-622-4104

労 金

1. 総会報告

東北労働金庫第7回通常総会が、2010年6月25日(金)仙台市江陽グランドホテルにて開催されました。総会では馬目理事長の挨拶、来賓として各県労福協、連合、全労連の代表者の方々よりご臨席を賜り、代表して労働者北部協議会事務局長の山崎透様よりご祝辞を頂戴した後、2009年度に係る業務報告、特別報告「合併基本計画書原案」が報告され、全体で確認されました。

続いて「第1号議案 第59期剰余金処分(案)の承認の件」より審議に入り、第2号議案「2010年度事業計画(案)承認の件」では、提案後「①店舗政策、②労金のメリットを感じる商品等、③退職者や地域への対応、④フレッシューズキャンペーンの取組み」等についてご意見・ご質問を頂戴し答弁の後、承認されました。第3号議案「定款の一部変更の件」、第4号議案「理事および監事の任期満了に伴う改選の件」、第5号議案「理事および監事の報酬額の件」、第6号議案「退任理事および退任監事に対する退職慰労金贈呈の件」についても提案通り承認されました。

今回の総会で理事・監事の任期満了に伴う改選により、退任する馬目理事長にかわり丹治則雄理事長(自治労福島県本部)が選任されました。岩手県内の常勤理事では、小野寺育郎副理事長(岩手県高等学校教職員組合)が退任され、岩手県本部の小野寺正志本部長(電機連合岩手地域協議会・東北日本電気労働組合)が再任されました。

2. 2010年度の主要取り組み課題

2010年度は第3期中期経営計画の最終年度であり以下の主要課題①法令遵守、企業統治、顧客保護重視の経営・組織風土の確立、②計数計画の達成、③総合的リスク管理とモニタリング態勢強化、④総合店舗政策の実施、⑤全国合併、⑥次世代システムの構築、⑦ポイント景品制度廃止、⑧勤労者支援など会員との協働、⑨営業力の向上、⑩資産の健全化、等の施策に取り組んでまいります。

第7回通常総会では「定款の一部変更の件」が承認され、今年度は具体的に店舗統合が実施されます。岩手県本部は来年10月までに江刺支店と水沢支店を統合し奥州支店として新築移転することになります。サービス低下にならないよう渉外対応の工夫やATM対応を行ってまいります。

2012年4月に予定される全国統合にあたっては「地方からの視点等」を念頭に積極的に意見反映してまいります。会員・職域・地域に根差した労金運動の発展とともに、全国統合を目指した事業基盤の充実を目標に取り組を進めてまいります。

東北労働金庫 岩手県内出身役員

2010年6月25日現在

理事・監事	氏 名	選任区分	所 属
常務理事(本部長)	小野寺正志	再	電機連合岩手地域協議会・東北日本電気労組
理 事	八幡 博文	〃	NTT労働組合東北総支部岩手分会
〃	豊巻 浩也	〃	岩手県教職員組合
〃	中野るみ子	新	岩手県医療局労働組合
監 事	坂本 浩	再	JR東労働組合盛岡地方本部

全 労 済

1. 総代会開催報告

＜岩手労済創立50周年 スローガン＞

「みんなとともに50年

揺ぎないたすけあいでこれからも」

全労済岩手県本部第35回ならびに岩手労済生協第53回通常総代会、そして全国組織機構および役員制度の見直しに伴う、全労済岩手県本部第1回代表者会議を7月30日(金)に岩手労働福祉会館において開催しました。

岩手県本部を代表し、佐々木本部長の挨拶の後に来賓の方からのご祝辞を頂戴し、その後に個人表彰が行われました。

次いで議案審議にはいり、吉田専務執行役員より「2009年度岩手県本部統合事業経過報告承認の件」をはじめとする提案が行われ、全議案とも原案どおり承認されました。

2010年度の活動は、2009年度の進捗状況を踏まえ、生活保障設計運動を機軸としながら、昨年の総代会で確認された「2009年度・2010年度岩手県本部統合事業計画」に一部補強を加えた諸課題の取り組みを進めてまいります。

また、2011年7月31日にむかえる創立50周年にむけて、キャンペーンを中心とした記念事業の展開も確認されました。

全労済の理念である「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」の実現に向けて、組合員の皆さまから、より一層の信頼・支持される全労済を目指し、2010年度も引き続き推進展開を図っていきます。

2. 2010年度の主要取り組み課題

(1)「2010年度岩手県本部統合事業計画補強策」

今年度は引き続き下記の項目を重点政策課題として設定します。

事業目標 純増111,671口の達成に向けて、詳細計画に一部補強を加え取り組みをすすめます。

- ①すべての業務の革新による業務品質のさらなる向上
- ②協力団体と組合員一人ひとりの期待に応える事業推進活動への改革
- ③協同組合価値の向上に向けた事業・組織運営の再構築・ガバナンス強化
- ④全労済全体の人材の育成強化
- ⑤激変する環境変化への迅速な対応を可能と

する経営構造への転換

⑥社会的責任のさらなる発揮と21世紀構想の実現

(2)岩手労済創立50周年記念事業計画について
「みんなとともに50年 揺ぎないたすけあいでこれからも」をスローガンに下記3つのコンセプトに基づき記念事業を展開します。

＜コンセプト1＞感謝の表明

50年を支えていただいたこれまでの組合員に感謝を表明します。

＜コンセプト2＞社会貢献

社会貢献活動を組合員とともに実施し、地域に身近な「全労済」をアピールします。

＜コンセプト3＞新たな使命

生活保障設計運動を中心に、組合員の生活向上のために共済事業を県民にアピールし、新しい仲間づくり、全労済ファンの拡大を目指します。

◆50周年記念事業推進キャンペーン◆

■第1次キャンペーン「火災共済・自然災害共済」の推進

2010年6月～2011年3月

■第2次キャンペーン「こくみん共済」の推進

2011年4月～2011年12月

全労済岩手県本部役員名簿

全労済岩手県本部役職	氏 名	
本部長	佐々木 敏 男	
副本部長	柴 谷 正 孝	
専務執行役員	吉 田 恵 一	
経営委員	砂 金 良 昭	
〃	佐 藤 浩 之	
〃	菊 池 淳	
〃	及 川 敏 昭	新任
〃	三 浦 一 泰	
〃	宮 川 寿	
〃	村 上 純	
〃	及 川 志 郎	
〃	中 澤 智	
〃	川 畑 勝 明	
〃	軽 石 義 則	
〃	森 茂	
〃	藤 井 明 彦	
〃	熊 谷 訓 一	
〃	芳 賀 勝 吉	
〃	森 隆 行	
〃	上 田 高	新任
〃	田 中 廣 美	

ハピネス共済会

1. 評議員会開催内容

ハピネス共済会(財団法人岩手県民共済会)の第40回評議員会は、7月23日(金)午前10時30分より盛岡市の岩手県高校教育会館大ホールにて行われ、第42期事業報告・決算報告及び第43期事業計画・予算等が審議されました。

第42期事業報告概況

(1) 共済事業

医療共済の保有契約は、加入団体の構成員の減少や解約などによる減少が続いており、前年度比6.9%の減少となりました。また、共済金の正味給付率は64.5%で、前年度に比べ5.7ポイントの減少となっています。

(2) 公益福祉事業

「ハピネス健康相談室」の利用状況は、前年度に比べ減少となり低調な利用状況となりました。このほか「岩手県生活問題研究会活動」「提携宿泊施設宿泊費助成」、「小学生クラス対抗30人31脚岩手大会への特別協賛」を継続して行いました。

(3) 施設事業

「山王ハイツ」は中核テナント(いわて生協コープ山王店)の退去があり、新たに薬玉堂盛岡山王店の入居となりました。空室について、テナント募集を継続的に行っております。「サンハピネス」は入居者に変動がありながら満室の利用となっております。「ホテルサンノウ」は、ネット予約の有効活用や宿泊利用提携により利用拡大に努めましたが、新たなホテルが増加したこともあり宿泊者数、宿泊収入とも前年度より減少となりました。

2. 第43期事業計画概要

公益法人制度改革関連法が平成20年12月1日に施行され、弊会は平成25年11月30日までに新法人へ移行しなければなりません。また、新法人移行と同時に保険業法が全面適用されますと共済事業の継続は困難になり、加入会員の皆様の不利益は計り知れないものとなることから、「類似共済を取り扱っている事業団体」に対しまして「医療共済ハピネス、新しいぶき、タス+かるじゃ」の3共済の受け皿を要請してきたところであります。

しかし、本年2月15日に金融庁からの要請に

よるヒアリング、5月11日には「保険業法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律案」が国会に上程されました。本法案の内容は、「平成17年の保険業法改正時において現に特定保険業を行っていた者のうち、一定の要件に該当する者は当分の間、行政庁の認可を受けて特定保険業を行うことができる」となっております。一定の要件とは、「①一般社団法人／一般財団法人であること、②一定の財産的基礎・人的構成を有すること、③業務・経理の適切性(保険計理人の関与)、等となっております。法案の推移を見守り、岩手県及び金融庁の指導を仰ぎながら、前年度に設置された、弁護士・会計士等の参加を求めた「公益法人制度改革・保険業法改正対策検討委員会」において検討のうえ、受け皿を要請している事業団体との協議を図らなければなりません。

事業計画については、次の2項目を柱としております。

(1) 共済事業と施設事業の展開

共済事業につきましては、機関会議等で協議を重ねながら検討を加えていくこととします。施設事業については、健全経営に努めてまいります。

(2) 公益福祉事業の継続的展開

ハピネス共済会役員名簿

役 職 名	氏 名	所 属
理 事 長	菅 生 哲 修	岩手開発鉄道労働組合
専務理事	浦 山 正 年	財団法人国労会館盛岡地方部
理 事	小水内 長 功	全日通労働組合岩手支部
〃	柏 英 壽	エヌティティ労働組合 東北総支部岩手分会
〃	小 山 剛 史	岩手県交通労働組合
〃	千 葉 伸 行	東北電力労働組合岩手県本部
〃	谷 藤 和 彦	新興製作所労働組合
〃	泉 山 忍	東日本旅客鉄道労働組合 盛岡地方本部
〃	工 藤 和 男	岩手中央タクシー労働組合
〃	高 橋 克 公	岩手県学校生活協同組合
〃	盛 田 明 広	自治労共済岩手県支部
〃	上 田 高	岩手県高等学校教職員組合
監 事	佐々木 誠 志	社団法人岩手県労働者福祉協議会
〃	下斗米 義 孝	東北労働金庫岩手県本部

信用生協

1. 総代会報告

信用生協第41期通常総代金は、8月31日に総代定数146名中123名の参加で開催され、全議案が賛成多数で承認されました。

2009年度は、創立40周年という節目の年にあたり、(1)くらしの困難の深刻化に対応し相談体制の強化・拡充を図る課題、(2)変化に対応した組織運営を確立する課題、(3)持続可能な財務構造と経費構造を確立する課題、(4)今後の発展戦略を策定し実践に移す課題という4つの柱の事業計画を立てて取り組みを行いました。

また、名称変更と事業区域の変更を含む定款等の改正を行い、青森県八戸市と市民の要請に応え、6月に八戸相談センターを開設いたしました。

2. 2010年度の取り組み

くらしの困難や将来の不安を誰にも相談できずに1人で悩み、最悪の場合、自殺に追い込まれる懸念も増大しています。このような中で、相互扶助の理念を生かし、親身な相談と生活再建まで寄り添った支援を行う信用生協の相談事業の必要性は益々高まっており、相談と一体となったセーフティーネット貸付に取り組む信用生協の真価が問われております。

2010年度もひきつづき相談体制を強化し、また、青森県民の願いにこたえ、八戸市以外の区域でも相談貸付事業が可能となるよう市町村への働きかけを行います。

第41期通常総代会選出役員名簿

役職名	氏 名	所 属 団 体
理事長	矢 神 章 男	元岩手県交通労組役員
専務理事	上 田 正	(信用生協専従)
理 事	伊 藤 慶 子	岩手県消費者団体連絡協議会 事務局長
〃	小水内 長 功	全日通労働組合岩手県支部 書記長
〃	佐 藤 庄 三	岩手県交通労働組合 執行委員長
〃	高 橋 薫	富士大学経済学部 教授
〃	宮 田 恒 美	株式会社シーエフシー 取締役
〃	山 崎 芳 樹	元医療法人役員
〃	小 渡 章 好	八戸短期大学 教授 八戸大学総合研究所 副所長
〃	藤 井 禎 勝	元盛岡市企画部長 元盛岡市消費生活センター所長
監 事	小田島 隆 久	小田島隆久税理士事務所 税理士
〃	太 田 秀 栄	石川法律事務所 弁護士

労働福祉会館

1. 評議員会報告

2010年6月23日(水)に第50回評議員会を開催し、2009年度の事業報告並びに決算について審議し、2010年度の事業計画並びに予算案等が承認されました。

2009年度の事業収入は、対前年比94%の104,920千円となりました。

これに対し、事業支出は対前年比93.2%の104,492千円となり、2010年3月期の収支差額は、428千円のプラスとなりました。

2. 2010年度の主要取り組み課題

- ① 会議部門 1,250万円の売上確保
- ② 宴会部門 4,350万円の売上確保
- ③ 仕出部門 2,200万円の売上確保

事業収入は対前年比105.1%を確保することとし、事業支出は仕入原価を対前年比110.6%、販売費及び一般管理費を対前年比102.8%以内に抑制することとします。

3. 公益事業

社団法人岩手県労働者福祉協議会の運営する文化事業を共催することとし、10万円の範囲内で実施します。

岩手労働福祉会館役員名簿

役職名	氏 名	所 属
理 事 長	来 内 広 幸	(社)岩手県労働者福祉協議会
副理事長	小 野 務	連 合 岩 手
〃	佐々木 誠 志	(社)岩手県労働者福祉協議会
常務理事	昆 誠	(財)岩手労働福祉会館
理 事	藤 井 明 彦	連 合 岩 手
〃	八 幡 博 文	連 合 岩 手
〃	砂 金 良 昭	平和環境県労組センター
〃	千 葉 伸 行	岩 手 友 愛 会
〃	小野寺 正 志	東北労働金庫岩手県本部
〃	佐々木 敏 男	全労済岩手県本部
監 事	三 浦 清	連 合 岩 手
〃	下斗米 義 孝	東北労働金庫岩手県本部



学 校 生 協

第62期通常総代会を6月7日に開催しました。今回は役員改選が行われ別表の名簿のように役員が承認されました。

2010年度は第10次中計のスタートであり厳しい中でも期待を持って、今後3年間の運動に取り組みたいと考えています。

9次中計は「みんなの生協から私の生協へ」をイメージスローガンとして取り組んできましたが、10次中計は「利用の結集と共同購入で計画的な生協生活」として、生協の理念としての消費生活の計画化や共同購入による安価で安定的な利用を進めるために、「Week」供給の拡大に取り組めます。そして、生協らしい商品の利用により安全で安心な消費生活、環境や自然にやさしい暮らしとなるように取り組んでいます。

今後の組合員の運動参加に向けて参加の弱い30代を組織するために、「カムバックセミナー」を開催しています。育児休業中の組合員に向けて学校の現状や休暇・休業制度の現状を説明しながら、復帰に向けての生活設計や生協の利用について、学びながら交流する内容としています。元気になれる子育て世代への支援に取り組み、組合員が情報を出し合うことで、助け合いが実感できる運動を進めています。

労福協や生協連など関連団体との連携による運動としては、平和の取り組みやユニセフの運動にも取り組みますし、消費者を守り育てる運動にも積極的に取り組んで、消費者が暮らしやすい社会の実現に向けた運動に参加しています。

学校生協特有の事業としては、学校への供給活動がありますが、特にも児童生徒に貢献できる運動として「イーハトーブ」（長期休業中の練習帳）の作成と販売や、同じく長期休業中の読書を勧める「良書推薦運動」と、児童に感想文を書く楽しみを体験してもらう為の「読書感想文コンクール」は、岩手の文化や児童に読んでほしい教材や図書を選定し、年に2回の表彰

式を行います。

厳しい社会情勢の中でも、組合員が生協運動に参加する事で、少しでも安全で安心な社会へ向けて前進できるように、今年度も計画的に運動と事業に取り組みます。

学 校 生 協 役 員 名 簿

役 職 名	氏 名	選出母体（常勤先等）
理 事 長	豊 巻 浩 也	小中学校（岩教組本部）
副理事長	熊 谷 セツ子	小学校長会（米内小）
〃	上 田 高	高等学校（高教組本部）
専務理事	高 橋 克 公	小中学校（学校生協）
理 事	山 本 光 男	退教互
〃	佐 藤 マユミ	退教互
〃	千 葉 研 二	高校長協会（盛岡一高）
〃	今 野 庄	中学校長会（城東中）
〃	佐 藤 潔	小中学校（岩教組本部）
〃	田 村 三 枝	小中学校（岩教組本部）
〃	千 葉 伸 武	高等学校（高教組本部）
〃	加賀谷 真紀子	高等学校（高教組本部）
〃	三 浦 洋 子	高等学校（一関二高）
〃	三 又 恭 次	盛岡紫波（支 部）
〃	佐々木 徹	岩 手（支 部）
〃	高 橋 克 典	花巻遠野（支 部）
〃	高 橋 智 也	和 賀（支 部）
〃	中 澤 元	胆 江（支 部）
〃	三 宅 茂 雄	い わ い（支 部）
〃	新 沼 寿 康	気 仙（支 部）
〃	小 國 博 文	釜 石（支 部）
〃	坂 下 正 典	下 閉 伊（支 部）
〃	佐々木 幸 男	九 戸（支 部）
〃	戸 部 一	二 戸（支 部）
特定監事	砂 金 良 昭	小中学校（岩教組本部）
監 事	高 橋 康 文	副校長会（仙北中）
〃	小 西 實	高等学校（不来方高）
〃	米 澤 弥志夫	小中学校（羽場小）
〃	高 橋 広 道	事務職研協（人首小）

